スタート！ 小中一貫教育 多久の義務教育9か年の新たな挑戦 連載 No.6

■問い合わせ　教育委員会 学校教育課　☎75－2227

多久市教育の特色を活かした実践（学力向上、心の教育、多久学、交流活動、ICT教育、国際化）

４月から、義務教育９か年の新たな枠組みで、小中一貫教育がスタートした多久市。（１）市内全域が小中一貫校に、（２）全小中一貫校が同時開校に、（３）教職員が同じ職員室に入って教育実践を行うスタイルに生まれ変わりました。すでにスタートしている県内外の小中一貫校の中でも、特筆すべき学校づくり・学校教育の実践であると多久市の学校づくりは高い評価を受けています。本年度の教育行政視察も10件を超えています。

今回は、「**心の教育**」と「**ICT教育**」について、実践内容を紹介します。

心の教育

「トイレ磨きは心磨き」

児童生徒の心を豊かに育むための一方策として、「トイレ磨きは心磨き」を合い言葉に、市内全学校で「トイレ磨き活動」に挑戦しています。夏休みには、「まず、教職員が実践を」を合い言葉に、全学校において全教職員が「トイレ磨き活動」に取り組みました。佐賀イエローハット会長 山﨑敬二さんを講師に招き、講義を受けた後、実際にトイレ磨き活動を行いました。先生たちは、汗をかきながら笑顔でトイレを磨き上げ、２学期からの児童生徒の取り組みに弾みを付けていました。

▲グループに分かれて
トイレ磨きに取り組む先生たち

ＩＣＴ教育

「楽しい、分かる、そして学力成果の上がる授業」

佐賀県では、ICT教育は学力向上の有効な手段であり今後の教育を左右する喫緊の課題と捉え、全県規模で「先進的ICT利活用教育推進事業」に取り組んでいます。

市では平成21年度、市内全学校全教室に電子黒板を設置し、ICT利活用教育に力を入れてきました。現在は、電子黒板配備率100%の強みを活かして、児童生徒にとって更なる「楽しい授業・分かる授業・学習成果の上がる授業」づくりを目指してます。定期的に授業研究会を開催し授業力を高めています。

▲電子黒板に写し出された資料をもとに
３人の役割を活かして発表する児童

イングリッシュサマーフェスタ2013

英語を使ったコミュニケーションや異文化を学んでもらおうと、８月９日、南多久公民館にてイングリッシュサマーフェスタが開催され、児童生徒40人が参加しました。

開会式では、市長や教育長の激励のあと西渓校の袈裟丸晋副校長が、「間違いを恐れず英語を存分に楽しんで」とあいさつ。参加者は、５つのグループに分かれ、英語で自己紹介し、ＡＬＴのクイズに各班で協力しながら解答するゲームに挑戦。続いて留学生が母国の文化を紹介する国際理解講座、ＡＬＴや留学生と一緒に英語のレシピを参考に料理作りに取り組みました。

今年から小学生も参加して行われ、西渓校６年の山田将輝さんは「外国に興味があり参加しました。中学校でも英語が得意になりたいです」と英語での会話を楽しんでいました。

▶国際理解講座の様子

全小学校でプール開放

夏休み中、全小学校でプールを開放しました。午前中は泳げない児童を対象とした水泳教室や、放課後児童クラブの水遊びの場を確保しました。また、お盆前までの期間は、児童の水遊び・水泳の場として提供し、連日プールでは、児童の歓声が響き、勢いの良い水しぶきが上がっていました。

借金問題　過払い請求　広告

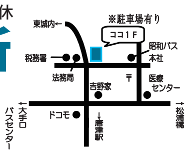
○サラ金からの借金を完済された方、時効前（10年）であれば、過払い請求が可能です。
○過払いの請求の場合、着手金不要（解決後、報酬金のみ）裁判までします。（印紙代等の実費は負担）

借金の相談は無料で随時受け付けます。民事・刑事の身の回りの問題もご相談ください。

営業時間　平日 9:00～18:00　土曜 9:00～12:00　日曜・祝日休

高﨑繁行法律事務所

弁護士 高﨑繁行（佐賀県弁護士会所属）
唐津市千代田町2109-17 くりはらビル1F
TEL 0955-70-0315



９月の定例教育委員会のお知らせ

日時　９月12日(木)　13時30分～

場所　市役所　第２委員会室（自由に傍聴できます）

■問い合わせ　教育委員会 教育総務課　☎75－3450